

2022年度事業報告書

2022年度収支決算書

自 2022年4月 1日

至 2023年3月31日

特定非営利活動法人 ロボカップ日本委員会

I. 2022年度事業報告書

2022年度については、本法人の事業目的を達成するために、下記の事業を実施した。また、ロボカップ活動の普及を図るため、WEBサイトの運営等により広報活動を強化するとともに、今後のジャパンオープン開催地候補を求めるべく積極的な行動をとった。

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 一般会計事業

① キャンプ等の開催

下記の通り、各リーグにおいてキャンプ・研究会などを行った。

- ・レスキュー実機リーグ秋キャンプ

事業内容：ルール説明、模擬競技

日時：2022年10月14日10:00～18日17:00

場所：ふたば学舎（兵庫県神戸市長田区）

参加者数：18名

- ・レスキュー実機リーグ冬キャンプ

事業内容：ルール説明、模擬競技

日時：2023年3月3、4日

場所：国際レスキューシステム研究機構（神戸ラボラトリー）

- ・シミュレーションリーグ（サッカー、レスキュー）秋キャンプ

事業内容：

日時：2022年12月3日～4日

場所：大阪公立大学中百舌鳥キャンパス B4 棟(4階)

参加者数：27名

- ・ロジスティクスリーグでは2022年8月全国工業高等学校長協会 夏季講習会で講習会を企画したが、参加者0人のため中止。

② ヒューマノイド・チャレンジ及び家庭向けサービスロボットの調査研究

- ・ヒューマノイド型ロボットの設計、制御等に関する技術動向について調査研究を行った。

- ・家庭向けのサービスロボットの課題設定と開発に関する技術動向について調査研究を行った。

③ WEBサイトの運営

- ・本法人の活動を紹介するホームページを運営し、ロボカップ活動の普及啓発を図った。

④ 星新一賞への協力

- ・ロボカップ日本委員会として、星新一賞への協力をを行い（主催：日本経済新聞社）、ロボカップ活動の普及に努めた。

⑤ ロボカップ研究賞の選定

- ロボカップに関わる若手研究者の奨励のため、国際会議等における業績にたいしてロボカップ研究賞を選定した。

⑥ IROS2022Kyoto (10月23日～10月27日)

日本での IROS 開催を機会に、ロボカップ普及と情報収集のためミーティング(10月25日)を実施した。

(2) 競技会特別会計事業

① ジャパンオープン2022の開催

2022年のジャパンオープンを下記の通りで分散開催した。分散かつ一部オンライン開催であったが、総勢で301名の参加があった。

フライングロボット 2022年09月12日(月)～14日(水) 会津大学

サッカー小型 2022年09月17日(土)～19日(月) 豊田工業高等専門学校

ロジスティクス 2022年10月01日(土)～02日(日) 龍谷大学瀬田学舎

レスキュー実機 2022年10月14日(金)～18日(火) 檜葉遠隔技術開発センター

@ホーム S-OPL 2022年10月24日(月)～25日(火) (IROS2022京都内で実施)

サッカーシミュレーション 2022年12月03日(土)～04日(日)

大阪公立大学中百舌鳥キャンパス(大阪府堺市)+オンライン

レスキューシミュレーション 2022年12月03日(土)～04日(日)

大阪公立大学中百舌鳥キャンパス(大阪府堺市)+オンライン

@ホーム 2023年03月06日(月)～09日(木) 東京大学 本郷キャンパス

研究会 2022年10月31日(月) オンライン

2. 収益事業

(1) World Robot Summit企画協力

日刊工業新聞からの委託により、World Robot Summitの継続を前提とした競技運営に関してノウハウの提供を行った。

3. 庶務事項

(1) 2022年度第1回理事会

日時：2022年6月4日(土) 13:00～14:00

場所：Zoomにて開催

出席者：15名(うち委任状による出席者5名)

審議事項

- (1) 2021年度事業報告及び収支決算の承認
- (2) 2022年度事業計画及び収支予算の承認
- (3) ロボカップジャパンオープン2022の件
- (4) IROS2022ロボカップミーティングの件
- (5) その他
- (6) 議事録署名人の選任

(2) 2022 年度通常総会

日 時 : 2022 年 6 月 4 日 (土) 15:00~15:45

場 所 : Zoom にて開催

出席者 : 70 名 (うち委任状による出席者 54 名, 欠席者 : 19 名)

審議事項

- (1) 2021 年度事業報告及び収支決算の承認
- (2) 2022 年度事業計画及び収支予算の承認
- (3) ロボカップジャパンオープン 2022 の件
- (4) IROS2022 ロボカップミーティングの件
- (5) その他
- (6) 議事録署名人の選任

(3) 2022 年度末の会員数

正会員 : 62 名

4. その他

- ・2022 年度ロボカップ世界大会は 2022 年 7 月 13 日から 10 日の日程で、バンコク (タイ) で開催された。
- ・共立出版よりロボカップシリーズ本の刊行を進めている。各リーグで担当者を決め執筆を開始した。令和5年度中には一部刊の出版を予定している。

決算報告書

(第 24 期)

自 2022 年 4 月 1 日
至 2023 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 ロボカップ日本委員会

令和4年度 貸借対照表

令和5年3月31日現在

特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会
単位：円

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	15,923,399		
流動資産合計		15,923,399	
2. 固定資産			
器具備品	2		
一括償却資産	192,680		
固定資産合計		192,682	
資産合計			16,116,081
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
未払法人税等	70,000		
前受金	569,000		
流動負債合計		639,000	
負債合計			639,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		14,952,975	
当期正味財産増減額		524,106	
正味財産合計			15,477,081
負債及び正味財産合計			16,116,081

令和4年度 財産目録

令和5年3月31日現在

特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会
単位：円

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	14,106		
りそな銀行普通預金	5,909,043		
きらぼし銀行普通預金	10,000,250		
流動資産合計		15,923,399	
2. 固定資産			
器具備品			
家具等保管用コンテナ2台	2		
一括償却資産			
令和4年度取得分	192,680		
固定資産合計		192,682	
資産合計			16,116,081
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払法人税等			
当期確定法人税等	70,000		
前受金			
年会費	78,000		
ジャパンオープン共催・協賛収入	380,000		
競技会参加費収入	111,000		
流動負債合計		639,000	
負債合計			639,000
正味財産			15,477,081

財務諸表の注記

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2022年度監査報告書

特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会の2022年度事業報告書ならびに2022年度収支決算書の各項目について監査した結果、いずれも適正かつ正確であることを確認いたしました。

特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会

2023年4月30日

監事 浅川 和雄

監事 内藤 理

監事 水川 真